

相勤申候

〔一話一言〕<sup>十二</sup>池田氏筆記<sup>略</sup>○中 一桂女、毎年始、八朔、所司代へ御禮トシテ三四人ヅ、來ル、年始ニ飴、八朔ニ菓ヲ上ル、<sup>菓ハ柿梨ノ類ナリ</sup>桂ノ里ニ住ス、人別ニ鳥目一貫文ヅ、下サルナリ、目見無之、著服ハ途中ニテハカヅキヲシ、例席ニテハカイドリヲシテ、頭ニ古キ布ヲ頂クナリ、

〔續百一錄〕延享三年正月七日

一百姓總禮<sup>なごまめ、ゆづりは、ほふくさ、難煮ら、くしが、いりこ、</sup>引而重箱<sup>牛蒡、くき、盃、あひの、か</sup>房<sup>かすの</sup>、一鳥目拾疋、庄屋、一同貳十疋、百姓中、一牛房、七郎右衛門、一小豆、藤右衛門、一小豆、五兵衛、一小豆、五郎右衛門、一同、喜兵衛、一黒大豆、小左衛門、一扇子、利左衛門、一黒大豆、三上仙助、一小豆、針新平、一牛房、九右衛門、梅津村、一鳥目三十疋、文大夫、一扇子、四

本<sup>又四郎、嘉兵衛</sup>、一扇子十本、百姓中、吉祥院村、一御禮御鏡、石原市正、一扇子一箱<sup>百姓中、八郎右衛門</sup>、一黒大豆、百姓中、一扇子一箱<sup>東方、左衛門</sup>、一扇子二本、<sup>北方</sup>與左衛門、宇兵衛、宇右衛門、源右衛門、下

津林村、一<sup>めかつらあ</sup>彌右衛門、一青銅廿疋、源左衛門、一扇子十本、百姓中、一小豆、半左衛門、

〔續百一錄〕延享四年正月七日、一公方御禮相濟、御下總百姓中、一御盃被下候、松波父子、同左衛門尉、大隅雅樂權助、福田父子、辻銅女、辻平藏、牧監物、三上藏之助、雁金や父子、

寛延三歲孟春七日、郷方庄屋年寄御禮勤、御盃不被下、御目通へ出拜申、

〔水谷蟠龍記〕常陸國久下田ノ城主水谷蟠龍ハ、<sup>略</sup>同午ノ正月<sup>十二年</sup>、<sup>天文</sup>村々ノ百姓オトナシキ者共、御禮申上候嘉例ニテ、備一重并食酒ニテ終日ノ御馳走ナリ、百姓ドモ申候ハ、例年ヨリ當年ハ餅ノ廻リチヒサク御座候ト子ダ、ル蟠龍仰ケルハ、餅ノ大小ハ、オノレラ次第ニ年貢サヘオホク

上ルナラバ、フジノ山程ニシテモトラセント仰ラレバ、百姓申ケルハ、我等ハ下薦ナレバ、上ヲ恐レズムザト物ヲ申事御噺リ有ベキニ、狂敷ヲ御意ナサレ御機嫌能事、不思議ナル御生レカナ